

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

大陽日酸株式会社（証券コード:4091）

【クレジット・モニター解除】【据置】

長期発行体格付 # A + / ネガティブ → A +
格付の見通し ネガティブ
債券格付 # A + / ネガティブ → A +

【据置】

国内CP格付 J - 1

■格付事由

- 12月3日、当社は米国 Praxair, Inc.社の欧州事業の一部を運営する法人の株式を取得する手続きが完了したことを発表した。取得価額は合計 4,913 百万ユーロ（約 6,347 億円）。欧州地域には初めての本格参入となり、これによりグローバルで確固たる事業基盤を確立することになる。国内市場での成長余地に限られるなか、当社はこれまで米国やアジア・オセアニアで M&A を実施し、利益成長につなげてきた。しかし、産業ガス業界は近年、世界的な業界再編が進行しており、グローバルプレーヤーとして勝ち残るためには、より戦略的な取り組みも必要となっていた。
- 本件買収により財務構成は大きく悪化する。有利子負債は買収前で 3,000 億円台半ばだが、買収後には 1 兆円前後にまで増加する。しかし、資金調達の一部はハイブリッドファイナンスの活用を予定しており、財務構成の悪化はある程度抑制される見込みである。また、欧州は産業ガス市場としては北米に次ぐ規模で、競争環境も安定している。今回取得した欧州事業の過年度業績も、安定した利益成長と良好な収益性が維持されている。産業ガスの事業特性を踏まえれば、買収後、当社の利益水準は大きく底上げされ、安定したキャッシュフローを背景に、着実に有利子負債削減を進めていくことは可能と考えられる。以上を踏まえ、クレジット・モニターを解除するにあたり、格付を据え置き、見通しはネガティブとした。JCR では、適切なマネジメントにより欧州事業の運営を早期に軌道に乗せられるか、また、今後の成長投資のあり方などを注視し、格付に反映させていく。

（担当）藤田 剛志・坂井 英和

■格付対象

発行体：大陽日酸株式会社

【クレジット・モニター解除】【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	ネガティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第11回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2014年2月27日	2019年2月27日	0.319%	A+
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年2月27日	2021年2月26日	0.558%	A+
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2016年12月15日	2021年12月15日	0.140%	A+
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2016年12月15日	2026年12月15日	0.390%	A+

【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	400億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年12月3日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)、「親子関係にある子会社の格付け」(2007年12月14日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 大陽日酸株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル